

令和3年度

東京都教職員研修センター紀要

第21号

令和4年3月

は じ め に

予測困難なこれからの時代において、子供たちには、常に社会の変化を柔軟に受け止め、生涯にわたって様々なことに粘り強く挑戦し、自ら学び続けていく姿勢が必要です。そのために、私たち教育を担う者が、子供たち一人一人の個性や能力を最大限に伸ばし、自らの希望や意思に基づいて、人生を選択できるよう、指導を工夫・改善していくことが求められています。

こうしたことから、東京都は、令和3年3月に「東京都教育施策大綱」を策定し、「誰一人取り残さず、すべての子供が将来への希望を持って、自ら伸び、育つ教育の実現」を目標に掲げ、いま直面している危機を乗り越え、明るい未来を切り拓く、新しい時代の教育の確立を目指しています。こうした「東京都教育施策大綱」の趣旨を踏まえ、各学校の教育活動の充実に役立てていただくことができるよう、東京都教職員研修センターでは、令和3年度、以下の研究に取り組みました。

第1は、「いじめ防止等の対策を推進する研究（2年次）－東京都公立学校におけるいじめ対策の現状把握と「保護者・地域プログラム」の開発－」です。いじめ問題の解決に向けた保護者・地域向けの啓発プログラムを改善するとともに、調査研究から明らかになったいじめ問題に関する児童・生徒等の実態についてまとめました。

第2は、「自尊感情や自己肯定感に関する調査研究（2年次）－各校種における授業モデルの開発を目指して－」です。令和2年度に実施した、都内公立学校の児童・生徒を対象とした自尊感情や自己肯定感に関する調査結果について分析するとともに、意図的・計画的に児童・生徒の自尊感情や自己肯定感を高めることができるよう、「自尊感情や自己肯定感を高めるための年間指導計画」を開発しました。

第3は、「小・中学校に関する学習者用デジタル教科書の研究（1年次）」です。学習者用デジタル教科書の特徴や機能の分類・整理を行い、メリットとデメリットを明らかにするとともに、学習者用デジタル教科書に関する意識調査を実施し、児童や生徒の現状を把握しました。

各教育委員会及び学校におかれましては、本紀要に掲載した研究の成果及び調査の結果を教職員間等で共有していただき、各学校における学習活動等の改善・充実に向けて、広く活用していただければ幸いです。

結びに、当センターの教育課題研究の推進に当たり、関係教育委員会をはじめ、検証授業及び調査等に御協力いただいた学校の先生方、多くの御示唆や御助言をいただいた講師の方々に御礼を申し上げます。

令和4年3月

東京都教職員研修センター所長 増田 正弘

目 次

1	いじめ防止等の対策を推進する研究（2年次） ー東京都公立学校におけるいじめ対策の現状把握と 「保護者・地域プログラム」の開発ー	3
2	自尊感情や自己肯定感に関する調査研究（2年次） ー各校種における授業モデルの開発を目指してー	19
3	小・中学校に関する学習者用デジタル教科書の研究（1年次）	35
	参考文献・資料等	51
	研究に携わった所員・講師・教員研究生・研究協力校	53